

ジオパークの活動と火山防災 geopark & volcanic activity

中川 和之^{1*}
Kazuyuki Nakagawa^{1*}

¹ 時事通信社
¹ JijIPress

2008年から日本国内でジオパークの認定が始まった。そこには火山、地質、地理、第四紀、地震の5学会が参画しており、地球科学的な知見が、ジオパークにとって不可欠であることを伝えている。

2012年度では、国内では25地域がジオパークと名乗ることが許されているが、そのうちエリア内に活火山を抱えるジオパークが11あり、それ以外にも火山活動と関係した景観を楽しむことが出来るジオパークも7箇所ある。保全と教育、ジオツーリズムに取り組むジオパークは、これまで時に対立してきた観光と火山防災が、一体となって活動できる。2011年の霧島火山の噴火では、観光関係者から取材に対して「新燃岳は生きている火山。ジオパークに選ばれ、火山を売りにしているのだから噴火するのは当たり前」と語ったほどだ。それぞれのジオパークでの火山防災への取り組みを概観する。

キーワード: ジオパーク, 火山, 災害, ジオツアー
Keywords: geopark, volcano, disaster, geotour